

【国際旅客便】

(1) 減便・運休路線

路線	運休・減便開始	備考
福岡＝ホノルル線運休	10/5～	
大阪＝ホノルル減便	10/1～	1日2便 → 1日1便
福岡＝香港線運休	10/3～	
東京＝サイパン線運休	10/4～	
大阪＝サイパン線運休		
名古屋＝グアム線運休	10/3～	
福岡＝ソウル線運休	10/3～	

(2) JALウェイズ担当路線の見直し

従来、JALウェイズが担当していたホノルル・バンコクなどに加え、10月1日より、「東京＝マニラ」「東京＝ブリスベン」「東京＝デンパサール」「大阪＝デンパサール」線を担当することで、JALウェイズ担当規模を維持し、コスト競争力を引き続き確保してまいります。

(3) その他

路線	変更点	内容	時期
東京＝ロサンゼルス	減便	週8便 → 週7便	2005年10月30日より
大阪－デンパサール －ジャカルター大阪	経路変更	大阪＝デンパサール直行便に変更	2005年10月1日より
東京＝台北＝高雄	経路変更	「東京＝高雄」直行便に変更 (東京＝台北は週21便を継続)	2005年11月1日より

【国内旅客便】

1. 羽田路線

需要の季節変動に柔軟に対応する為、多客期の札幌線の大型化など、各路線の需要動向に合わせた運航機材の適正化を図ります。

2. 伊丹・関西・神戸路線

関西地区マーケットにおける需要動向・他社路線状況などを総合的に勘案し、関西圏におけるお客様利便の最大化を目指し、3空港からの路線ネットワークの積極的展開を図ります。

なお、神戸路線については、2006年2月16日の開港当初から、東京、札幌、沖縄、仙台、熊本、鹿児島線の6路線に、計10便の運航を計画します。(詳細な運航計画につきましては、11月末までに決定予定)

3. 名古屋路線

高需要路線である中部～沖縄線を期間増便するなど、旺盛な中部地区需要に対応すべく、中部国際空港での路線展開を積極的に推進します。同時に、CRJ-200型機を増機し、60人以下の小型機専用空港である名古屋(小牧)空港を基点とする路線ネットワークの充実を図ります。

【国際貨物便】

旺盛なアジア発貨物需要に対応し、増便を行います。

路線	変更点	内容	時期
東京＝香港	増便	週4便 → 週5便	2005年11月1日より 12月31日まで

なお、引き続き成長の見込まれる中国線につきましては、旅客・貨物便ともに、今後の関係当局間協議の動向を注視しつつ、更なる積極的拡充を検討してまいります。

【機材計画】

当初計画に、以下を追加します。

(1) 747型機3機を追加退役させる(10月2機、11月1機)

(2) 767型機1機を国際線から国内線に配転する

尚、2005年度末におけるJALグループの稼働機材数は、当初計画では284機でしたが、上記により、281機となります。

【2005年度機材退役・導入計画】

退役	747	修正計画 (当初計画 1機)	4機	747F	1機	DC-10	4機
	A300		3機	YS-11	2機		
導入	777-200ER		2機	777-300ER	2機	777-200	1機
	767-300ER		3機	CRJ-200	2機	Dash8-400	2機

琉球エアーコミューター(RAC)含む

なお、当計画は関係官庁の許認可取得を受けて実施します。

以 上